

健闘せり 福岡を制す

第54回全国高校ラグビー大会

全国ラグビー関係者の注目のもとであった花園大会・高校ラグビーの王座を決める大会である。岩手・青森の東奥羽代表として母校、黒北ラグビー部が初出場の榮譽に輝いた。第一回の対戦は伝統をもつ福岡第一代表の福岡高校と黒北。大会の初戦でしかも黒北と同じような進学校との試合は、力強いFWの押しで15-12で古豪を下し初陣を飾った。

△一回戦

黒北高 7 8 15

前 後 計

福岡高 0 12 12

○レフリー 前田(東教大出)

○キックオフ 黒北高

○選手交代 黒北 高橋毅(八重樫徹)

黒北 1017 2008 159

TGP前 TGP後 計反

福岡 0000 02012 1211

司島野原藤竹光生館哲与克朗徹新

田 井 藤地橋地重樫

郡小草小伊大照畑宮佐菊高菊八八

黒北FW HB TB FB

強豪大分舞鶴強し!!

一月一日の第一回戦の勝利から第2回戦は1日おいて3日、九州勢の東九州代表優勝の大分舞鶴高校と対戦し、エンジンのかかりが遅すぎて後半に望み

をもったがFWのタテの突進からとびこんだ菊地朗の右スミのトライが唯一のものとなってしまい涙を飲んだ。

△二回戦 舞鶴45-7黒北尻北

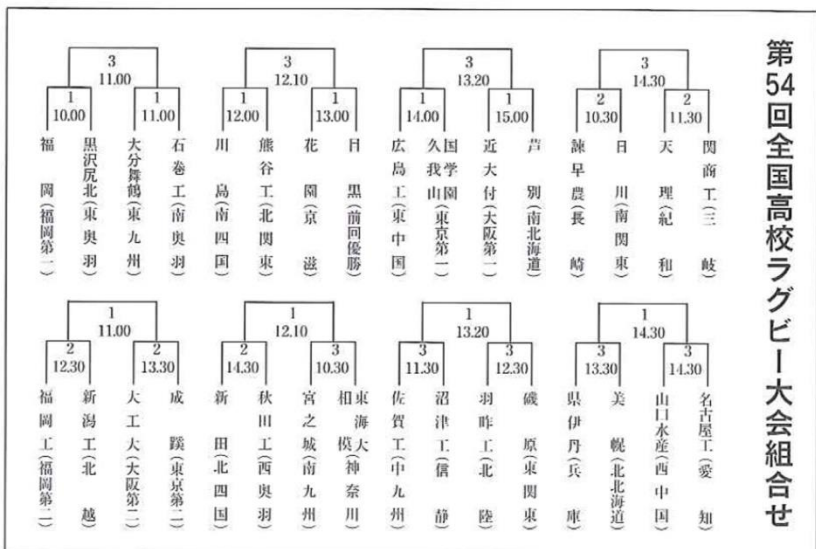
大分 23129 12016 456

TGP前 TGP後 計反

黒北 0013 10004 75

司島野原藤竹井生館哲与克朗毅新
田 藤地橋地橋
郡小草小伊大照畑宮佐菊高菊高八
黒北FW HB TB FB

第54回全国高校ラグビー大会組合せ



根性、意志力、不屈の精神

黒北ラグビー監督 及川智弘(27回生)

創部以来二七年目で初めて花園大会へ出場したことは本校にとって非常に誇り高いもので選手の皆様には心から拍手を送りたい。特に本県のラグビー水準の高さからしても黒北が出場したことは新しい歴史であり、貴重で意義あるものと思います。

その出場までの生徒の努力は簡単に言葉ではあらわせません、練習につぐ練習の中で培われた根性・意志力・不屈の精神・計り知れないさまざまな体験をしたと思います。更に3年生にとっては最も重大な時期の大会参加は精神的な焦り不安は練習での苦しさとは異なった重苦しい生活であったと思います。

しかし、一度決心し、団結したチームの輪は乱れることなく逆境に立たされるほどより強力にチームの中に浸透し、堅く結束していきました。

生徒達の強く堅いチームの輪の団結と更に彼等の根底に潜む自分自身が「やるのだ」という自主性が、より強い行動となって表われたと思います。このような状況のもとでありましたが学校、父兄、同窓会、ラグビーOBの皆様の暖かいご支援で、トヨタ白工で合宿、そして我々OBにとって夢だった花園のグランドに臨んだのでした。結果的には第2戦で優勝した大分舞鶴に敗れましたが古豪福岡を倒し青春の炎を花園のグラウンドで燃焼し尽くしてまいりました。

今日も雪の中、厳しい練習で残された1・2年生が新しい炎を引継ぎ、来年又活躍することでしょう。3年生の諸君本当にご苦労さまでした。厳しく、困難な時期ですが、あの試合でみせた自主性と団結で新しい道をきりひらいていくものと思います。最後に我々の今大会にご尽力くださいましたラグビーOB皆様から感謝申し上げます。

(第3号黒陵ラグビーOB会会報より)